

2019年9月27日

日本産業パートナーズ株式会社

株式会社コベルコマテリアル銅管及び古河電気工業株式会社の 銅管・銅板事業の分割承継会社の株式取得について

日本産業パートナーズ株式会社（以下、JIP）は、株式会社神戸製鋼所（以下、神戸製鋼）及び三菱マテリアル株式会社（以下、三菱マテリアル）と、両社の合併会社である株式会社コベルコマテリアル銅管（以下、KMCT）株式の90%を、JIPが管理・運営する日本産業第五号投資事業有限責任組合等が間接的に出資する特別目的会社であるCTJホールディングス2合同会社（以下、CTJ）が取得することについて本日合意いたしました。なお、神戸製鋼は、KMCT株式の10%を引続き保有します。

また、JIPは、古河電気工業株式会社（以下、古河電工）と、同社の銅管、銅管部品及び銅板の開発、製造及び販売に関する事業（以下、古河電工当該事業）を分割して設立する新会社（以下、新会社）の全株式及びFurukawa Metal (Thailand) Public Co., Ltd.（以下、FMT）の古河電工が保有する全株式をCTJが取得することについて本日合意いたしました。

KMCTは2004年に神戸製鋼と三菱マテリアルの銅管事業を統合し設立されて以来、日本における銅管のリーディングプレイヤーとして確固たる地位を築いてまいりました。また、古河電工当該事業は、1938年の尼崎工場設立以来、高品質・高精度の各種伸銅品を製造しており、長年にわたりお客様の多種多様なニーズに応じてまいりました。

JIPは、今回株式を取得する各社の優れた技術力・開発力・顧客基盤を活かし、その強みに磨きをかけつつ、各社の一体運営を図ることで、事業の更なる成長・拡大を支援してまいります。その結果として、お客様により良い製品・サービスを提供し、役職員の皆様にとってより働き甲斐のある会社とすることで、中長期的な視点で事業価値の向上を図ります。

上記目標を達成するために、国内においては、成熟する需要に対応して、新会

社の尼崎工場で行う銅管製品の製造を、2年程度の準備期間を経てKMCT 秦野工場に集約することで、より効率的な生産体制の構築を目指します。海外においては、KMCT Thailand と FMT の連携により世界で増加するエアコン需要に対応し、一段の事業成長を目指します。なお、前述の2年程度の準備期間経過後に新会社の銅板関連事業の生産を終了し、それに伴い尼崎工場を閉鎖する予定です。

なお、本取引の実行は国内の独占禁止法に関連する当局からの認可取得を前提条件としており、取引の完了は2020年の第一四半期となる見込みです。

以 上

<お問い合わせ先>

日本産業パートナーズ 宇川俊和

電話：(03)6266-5781

E-mail: jipinc@jipinc.com

○KMCT の概要

名 称	株式会社 コベルコ マテリアル銅管
所 在 地	東京都新宿区西新宿 2 丁目 7 番 1 号 小田急第一生命ビル 4 階
代 表 者	代表取締役執行役員社長 角田 秀夫
事 業 内 容	銅管の製造・販売
資 本 金	60 億円
設 立 年 月 日	2004 年 4 月 1 日
出 資 比 率	神戸製鋼 : 55% 三菱マテリアル : 45%

○FMT の概要

名 称	Furukawa Metal (Thailand) Public Company Limited
所 在 地	183 Regent House Building, Rajdamri Road 14th Floor, Lumpini, Pathumwan Bangkok Thailand
代 表 者	Junichi Ishihara
事 業 内 容	銅管の製造・販売
資 本 金	480 Million Baht
設 立 年 月 日	Jun 1988
大株主及び持株比率	古河電気工業株式会社 42.25% Thailand Security Depository Company Limited for Depositors 16.06% Bangkok Insurance Public Company Limited 9.51% Chai Sophonpanich : 4.72% Suthin Atsadathon : 3.60% Veeradech Kitikornauttha : 3.49%

○JIP の概要

名 称	日本産業パートナーズ株式会社
所 在 地	東京都千代田区丸の内二丁目 1 番 1 号
代 表 者	代表取締役社長 馬上 英実
事 業 内 容	ファンドの管理・運営・情報提供業務
資 本 金	1 億円
設 立 年 月 日	2002 年 11 月 1 日